

海業の事業計画骨子（案）【長崎県対馬市 上対馬地区】

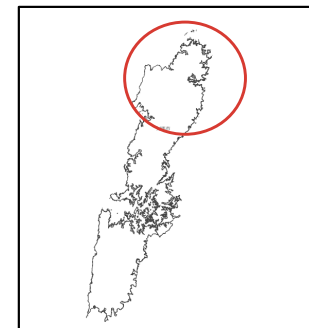
現状と課題

【地域・水産業の現状と課題】

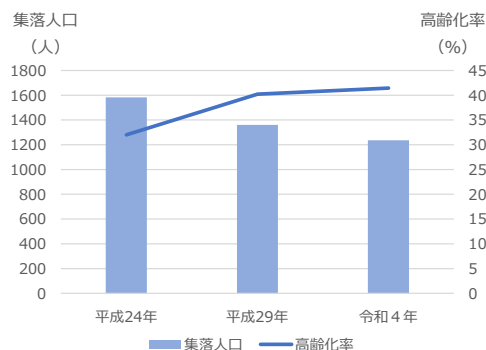
- 韓国からの玄関口である比田勝港は国際交流の拠点の役割を担う。
- 比田勝港と釜山港（韓国）間の国際航路は、平成30年度31万人の入国者があり観光業の大きな受け皿となっていた。
- しかし、令和元年7月頃から日韓関係が悪化し入国者は激減。令和2年3月以降は、コロナ禍の影響を受け国際航路は全便運休、入国者は皆無となり、観光業に深刻な打撃を与えた。

【海業の現状と課題】

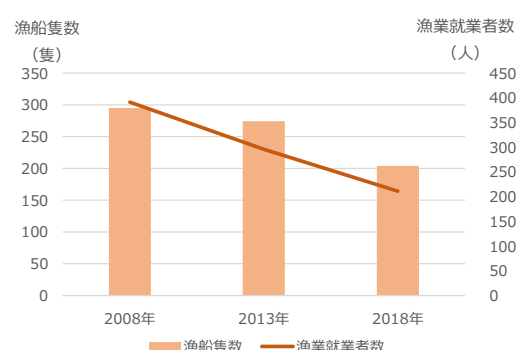
- 魚の漁獲と島外出荷の本来漁業だけでは限界があるが、海そのものの価値や漁村の魅力等を活用することで、漁業者の所得向上、雇用機会の創出等が期待できる。
- 比田勝港と釜山港間の国際航路は令和5年2月に運航再開したことも追い風となり、インバウンドを対象とした観光業の回復も期待できる。
- 上対馬町漁協管内の街と漁村の存続をかけ、漁業者と観光事業者が連携・融合して海業の振興を行い、地域経済の浮揚と賑わいの創出や水産業の高付加価値化と持続可能な漁業を実現することが望まれている。



■漁港背後集落の人口と高齢化率

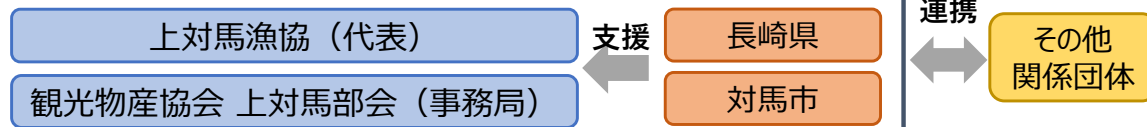


■漁港背後集落の漁船隻数と漁業就業者数



検討体制

協議会



海業の事業計画骨子（案）【長崎県対馬市 上対馬地区】

3. 海業の方針

令和5年度調査当時の内容です。

国内外からの観光客（特に富裕層）等が多く来島し、上対馬の水産資源や文化を売りにした高価格帯のサービスが成り立ち、自然や水産資源を回復させながら、地域経済回る仕組みを確立する。その結果、街や漁村に活気を生み、活躍する若い漁師や住民を増やす。漁村のホンモノ・旬を漁師が提供するアドベンチャーツーリズムの推進により、上対馬ブランドの確立と質の高い客層からの外貨獲得により上対馬地域の活性化を目指す。

【取組】

- 「遊ぶ」：漁業者やガイドによるマリンレジャー
- 「食べる」：ブランド戦略・地産地消の仕組みづくりや漁家体験推進
- 「交わる」：観光窓口拠点の強化と人材育成、お金が落ちる仕組みづくり

4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

①地曳網体験、海の家、魚礁の設置、ダイビング事業の実施（三宇田浜）

朝ビーチでの地曳網＋魚捌き＋朝食の体験
ビーチ来訪者への飲食・休憩サービスの提供
魚礁に集まる魚を目当てにダイビング実施

【期待される効果】

- 域内での水産物消費拡大
- 漁業所得の向上
- 滞在時間・質の向上
- 賑わいの創出
- 地域の雇用の創出

②古民家の活用（富ヶ浦）

漁村集落の真ん中に滞在できる古民家宿泊、飲食、体験施設としての活用。

【期待される効果】

- 域内での水産物消費拡大
- 漁業所得の向上
- 滞在時間・質の向上
- 賑わいの創出
- 地域の雇用の創出

③魚捌き人材の確保（エリア全体）

島外からの来訪者を、島での副業者として受け入れ。魚捌きを漁業者や地元の方から教わり技術習得、バイト収入を得る。

【期待される効果】

- 都市部IT企業等との継続的な関係構築
- 地域の雇用の創出
- 関係人口、交流人口の創出

海業の取組 エリア配置案



④筏レストラン、青空市、水揚げ見学、なやの浜の活用、釣り施設、魚捌き人材の確保（比田勝、浜久須）

- 筏レストランでの食事提供
- 青空市での鮮魚販売（未利用の駐車場活用、イートインでの魚食）
- 漁業者の水揚げ見学、その後の鮮魚販売
- なやの浜での通常営業のレストラン、キャンプ場、会場アスレチックの設置
- 未利用の用地を活用した釣り施設（栈橋）の設置、集金の仕組み導入
- 魚捌き人材の確保（副業人材として受入）

【期待される効果】

- 域内での水産物消費拡大
- 水域の活用
- 漁業所得の向上
- 滞在時間・質の向上
- 賑わいの創出
- 地域の雇用の創出
- 早朝時間、出航待ち時間の活用

